

業務のコリをほぐします

EXCEL VBA

実践教室

第2回

牧村 あきこ
MAKIMURA, Akiko
Office Makimura
<http://www.makim.net/>

オリジナルのシート見出しを作成する

素早くシートを表示したい

Excelではシートの見出しが横方向に並んでいます。画面に表示しきれないシートの見出しは、シートの見出し専用のボタンでスクロールする仕様となっています。しかし、シート名が長い、あるいはシートの数が多い場合など、もっと素早くシートを選択できるようにしたい、というケースが多々あります。

シートの見出しをスクロールするボタン上で右クリックすれば、ショートカットメニューとしてシートの一覧が

表示されますので、ここから目的のシートを選択することもできます。しかし、頻繁に各シートを切り替えるような場合、常にシート名が表示されていると便利な場合もあるでしょう。

連載2回目の今回は、目次として機能するオリジナルのシート見出しを作成してみることにしましょう。

作成するプログラムについて

まずは、メインとなる目次を作成するプログラムのイメージを確認し

ておきましょう (図1)。プログラムを実行すると、それぞれのシートごとに新しい目次用の列を挿入し、目次を作成します。同時に、ウィンドウ枠を固定し、横方向にスクロールしても目次が常に表示されるように設定しています。

さらに、目次を作成するプログラムだけでなく、目次を一括削除するプログラムも作成します。また、目次があると、シートを印刷するときなど不都合な場合もあるため、一時的に目次列を非表示にしたり、再度表示したりと切り替えるための簡単なプログラムも作成し、すべて専用のツールバーから実行できるようにしてみましょう (図2)。

目次作成用のプログラムを作る

早速、プログラムの作成に取り掛かりましょう。

Excelのメニューから [ツール] -

レベル >>> Level

1 2 3 4 5

言語 >>> Language

・VBA

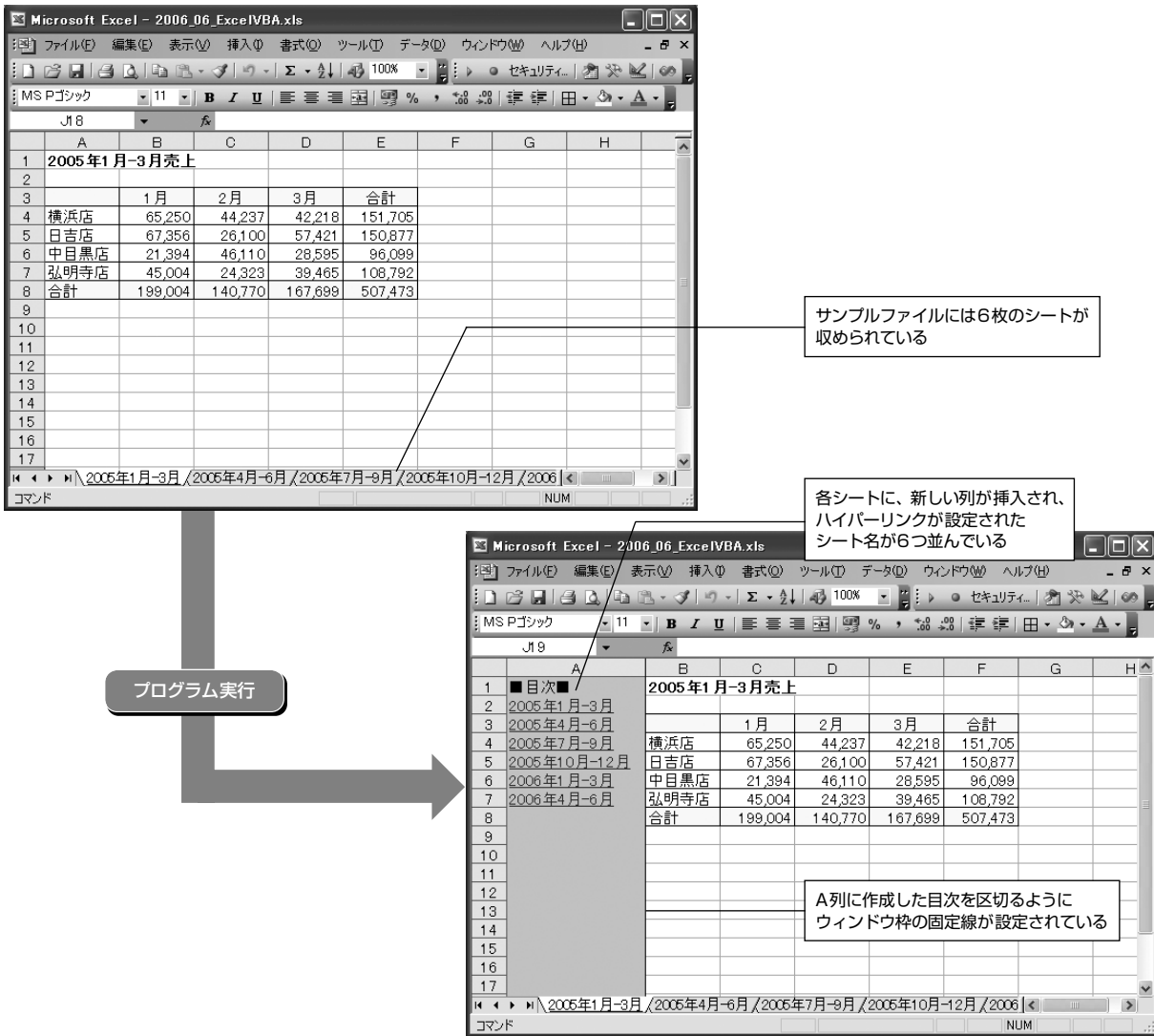
ツール >>> Tool

・Excel 2002
・Excel 2003

サンプル >>> Sample

この記事で取り上げたソースコードおよびサンプルプログラムは、
<http://www.shoelisha.com/mag/windev/>
からダウンロード可能です。

図1：シートすべてに目次を作成するプログラム



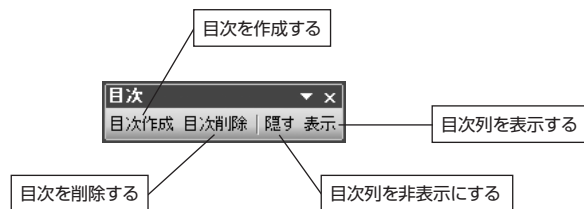
[マクロ] - [Visual Basic Editor] を選択すると、Visual Basic Editor が起動します。メニューから [挿入] - [標準モジュール] を選択し標準モジュールを追加したら、目次を作成する MakeCont プロシージャ (リスト1) を記述します。MakeCont プロシージャの基本的な処理内容は、図3のとおりです。

では実際のコードを、順番に解説してゆきましょう。

◎作業用シートと目次を作成

今回のプログラムでは、ファイルに含まれるシートに対して順番に処理を行なってゆきます。シートを特定す

図2：専用ツールバーから目次関連のプログラムを実行



るためのインデックス番号として、カウンタ変数「i」を冒頭で宣言します。

Dim i As Integer